

平成 26 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 廣 貫 堂
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 塩 井 保 彦

ASEAN における漢方アライアンスのためのワークショップ参加について

当社は、タイ・バンコク市内で開催された「Work Shop for KANPO or Japanese Herbal Medicine Alliance in ASEAN Under Otagai Project between ASEAN and Japan」（通称お互いプロジェクト）に参加いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、ワークショップでは「東南アジアの漢方市場、及び東南アジアへの和漢薬の普及」と題して、現在行っているタイの製薬企業とのタイ版和漢薬開発の状況についてプレゼンテーション致しました。

当社は、今後もこのような活動を通じて東南アジアの医療の発展と和漢薬製品の普及に貢献してまいりたいと考えております。

記

1.開催概要

- ①日 時： 2014 年 10 月 28 日（火）13：30～16：40
- ②会 場： ホリディインホテル（スクンビット）（タイ・バンコク市内）

2.ワークショップの目的

- ①日本の漢方製品の普及・啓発のために、医薬品産業関係者により ASEAN と日本間において新しい WIN-WIN のビジネス・プラットフォームを確立すること
- ②漢方アライアンスを育てるための環境を確立し、産官学・金融の長方形型アライアンスを形成して漢方アライアンスを支援すること

3.参加メンバー

- ①日本：株式会社廣貫堂、東邦ホールディングス株式会社、
お互いプロジェクトチーム、在タイ日本国大使館、独立行政法人国際協力機構（JICA）、
独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）、独立行政法人中小企業基盤整備機構（SMRJ）
富山大学など
- ②タイ：タイ日経済技術振興協会（TPA）、タイ保健省食品医薬品局（FDA）、工業省、福祉省、
製薬企業、卸売企業など

4.プロジェクトの概要（主催者 WEB サイトより）

タイで 2011 年末に起こった大洪水を契機に始まったのが「お互い」プロジェクト。災害など不測の事態に備えたサプライチェーンの強靱化に向け、日タイの産業クラスター間の連携を通じて“お互いさま”の発想で、バックアップや相互協力を試行するプロジェクトとしてスタートしました。第二ステップとして、日系中小企業、特に中小製造業のタイへの海外直接投資（FDI）の促進、日系インフラ関連企業の技術やノウハウのタイへの導入などを通じ、新たなタイブランドの創出に向けたプラットフォームへと発展させることを目指しています。

日本とタイ相互の産業クラスター連携を通じた、集团的・戦略的なタイへの直接投資を目的としたプロジェクトです。

以 上